



第10期報告書

平成24年4月1日 ▶ 平成25年3月31日

サクサ ホールディングス株式会社

証券コード 6675

株 主 各 位

平成25年6月27日

東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー
サクサ ホールディングス株式会社
代表取締役社長 越川 雅生

第10回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本日開催の当社第10回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告および決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬 具

記

- 報 告 事 項
1. 第10期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第10期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決 議 事 項

- 第1号議案 剰余金の配当の件
本件は、原案どおり承認可決されました。
(期末配当は、1株につき3円と決定いたしました。)
- 第2号議案 当社株式の大量取得行為に関する対応策(買収防衛策)の導入(更新)の件
本件は、原案どおり承認可決されました。

- 第3号議案 取締役2名選任の件
本件は、原案どおり鈴木 譲、畠山俊也の両氏が再任され、就任いたしました。
なお、畠山俊也氏は、社外取締役であります。
- 第4号議案 監査役2名選任の件
本件は、原案どおり猪鼻正彦氏が再任されたほか、新たに羽鳥勝彦氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、猪鼻正彦氏は社外監査役であります。
- 第5号議案 補欠監査役2名選任の件
本件は、原案どおり清水建成および飯森賢二の両氏が選任されました。
- 第6号議案 役員賞与支給の件
本件は、原案どおり承認可決されました。

以 上



代表取締役社長 越川 雅生

株主の皆様には、平素より「サクサグループ」に対しまして、格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、ここに当社第10期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)における事業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

当事業年度のわが国の経済においては、自然災害からの復興需要等を背景に景気の緩やかな回復は見られましたが、欧州の財政問題による市場の低迷や新興国経済の減速などにより先行きの不透明な中で推移いたしました。年度末に向けては、円安や株価の回復などにより景気の回復期待が高まりましたが、先行きの不透明感はいまだ残されております。

当企業グループは、中期経営計画に掲げました「事業の拡大」と「経営基盤の強化」に継続して取り組んでまいりました。

「事業の拡大」につきましては、当企業グループのコアコンピタンスであるネットワーク技術、ビジュアル技術、セキュア技術を融合させた商品を開発し、お客様視点に立った安心、安全、快適、便利を実現するソリューションの提供を目指してまいりました。

- オフィス市場では、
 - ・ 画像を使ったモニタリングシステムとして、ネットワークビデオレコーダ、ネットワークカメラに対応した機械警備用送信機やクラウド型ネットワークカメラ監視システムの提供を開始いたしました。

- ・ 情報の共有化に対するニーズにお応えするシステムとして、スマートフォン連携を可能としたキーテレホンシステム、次世代ファイルサーバやクラウド型ビジネスホンサービスなどの商品およびサービスの提供を開始いたしました。
- ・ 沖電気工業株式会社と共同開発を進めてまいりましたユニファイドコミュニケーションを実現する中小規模オフィス向けキーテレホンシステムにつきましては、平成25年4月からの発売開始に向け取り組んでまいりました。
- 交通・社会インフラ市場では、
 - ・ 立体画像認識技術の利用による商品として、バス乗降客人数カウンタ、さらに安全監視を実現するシステムのフィールドテストを実施しており、また、見える化ソリューションを実現する無線LANセンサなどの商品およびサービスの提供を開始いたしました。
- 海外市場では、
 - ・ カンボジアのセキュリティ情報提供会社へ出資するとともに、機械警備システムの提供を開始いたしました。

「経営基盤の強化」につきましては、安定した収益体質を構築するための組織機能の一部見直しを行うとともに業務の効率化と総原価の低減に継続して取り組み、効率的な支出に努めてまいりました。また、市場環境と経営環境の変化に柔軟に対応するためにサプライチェーンマネジメントの強化による生産システムの高度化を進めてまいりました。

当事業年度の売上高は、キーテレホンシステムの回復や加工受託の増加はありましたが、光関連機器の減少により387億9千2百万円(前期比0.5%減)となりました。利益面では、売上高の減少による付加価値の減少はありましたが、総原価の低減に努めたことなどにより経常利益は5億3千4百万円(前期比114.0%増)、当期純利益は3億8千万円(前期比39.6%増)となりました。

今後とも株主の皆様のご期待にお応えするため、なお一層の努力を重ねてまいりますので、引き続きご支援、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

中小規模オフィスに最適なキーテレホンシステム「PLATIA」シリーズを新発売



「PLATIA」シリーズ

サクサ株式会社は、中小規模オフィスに最適なキーテレホンシステム「PLATIA（プラティア）」シリーズを、「Agrea（アグレア）」シリーズからフルモデルチェンジし、3機種をラインアップいたしました。3機種のうち、「PLATIA Std（プラティア・スタンダード）」を4月から発売開始し、「PLATIA Pro（プラティア・プロフェッショナル）」「PLATIA Ult（プラティア・アルティメイト）」の発売を平成25年夏に予定しております。

「PLATIA」シリーズは、多様化するニーズに対応できる

競争力の高い商品を創出し続けることを目的に、沖電気工業株式会社と共同開発したキーテレホンシステムです。

「PLATIA」シリーズは、現行機種と同様に豊富なビジネスホン機能を継承しつつ、さらなる機能の充実とUC※1を実現する新機能を搭載しております。

豊富なビジネスホン機能においては、多機能電話機に標準搭載した人感センサによるセーフティ機能のほか、さまざまなコミュニケーション端末の収容や工事・保守業務の効率性を高めた保守機能を搭載しております。

新機能は、スマートフォンやソフトフォンなどのアプリケーション機能の搭載、SIP専用線※2を介した他のオフィスとの内線通話や、コールセンター／ホテル／病院など業種・業態向けシステムとの連携※3といった機能を搭載することにより、効率的なオフィスネットワークの構築が可能となり、UCを実現しております。

※1:UC(ユニファイドコミュニケーション) 電話、メール、テレビ会議およびWeb会議などのさまざまな通信手段やコミュニケーション手段を統合することによりもたらされる、効率的なコミュニケーション。

※2:SIP専用線 キャリアが提供するIP-VPNなどのサービス。本社、支社、営業所などの拠点間を接続することで内線通話網を構築でき、通信コストの削減を実現。

※3:業種・業態向けシステムとの連携 「PLATIA Pro/Ult」でご利用可能。

カンボジア市場向け機械警備システムを提供開始

サクサ株式会社（以下「サクサ」）および株式会社フォーバル（以下「フォーバル」）は、フォーバルのカンボジア現地法人子会社であるForval (Cambodia) Co., Ltd. と現地で警備会社などを傘下に持つSCI Co., Ltd. が共同で運営しているセキュリティ情報提供企業のE Security Services Co., Ltd.（以下「ESS」）の第三者割当増資をそれぞれ引き受け、増資完了（平成24年11月）後、ESSは、民間警備会社やカンボジア警察に対し、契約顧客に設置したセキュリティ機器からの異常警報等の情報

提供を平成25年1月から開始いたしました。

サクサが日本国内で培ったセキュリティシステム事業ノウハウおよびフォーバルの情報通信コンサルタントとしてのノウハウをESSに提供し、ESSは人的警備から遠隔セキュリティシステムへの移行を支援します。さらには、カンボジア国内の公共施設、企業および個人宅向けに安心・安全を提供することで、カンボジアにおけるNo.1のセキュリティ情報提供企業を目指してまいります。

【業界最薄】薄さ19mmのアクセスコントローラとホームセキュリティ向け無線センサを新発売

サクサ株式会社は、「NexBe（ネクスピー）セキュリティシステム」の各種送信機へ対応した新型アクセスコントローラ「TS-SC01SLH/TS-SC01SLC」、ホームセキュリティ向け無線センサ「SRシリーズ」および無線センサ「SRシリーズ」に対応した送信機「SHA-5100シリーズ」を開発し、平成25年5月から販売を開始いたしました。

「SRシリーズ」は、電池の長寿命化、リモコンによる操作性の向上、風呂場にも設置可能な防水タイプのマグネットセンサをラインナップするとともに、「SRシリーズ」に対応したホームセキュリティ送信機「SHA-5100シリーズ」を同時に発売することで、お客様に対して導入前のご提案から電池交換などのアフタサービスまでをワンストップでご提供いたします。



アクセスコントローラ「TS-SC01SLH/TS-SC01SLC」

「クラウド出席管理サービス」を提供開始

サクサ株式会社は、非接触ICカードに対応した「クラウド出席管理サービス」を、平成25年4月から開始いたしました。

従来の出席管理システムは、学校内に専用サーバを設置し運用するため、初期導入費用およびサーバ維持

管理費用の低減が課題となっておりました。今回の「クラウド出席管理サービス」は、クラウドサーバを利用するため、初期導入費用およびサーバ維持管理費用の大幅な削減が期待でき、かつ手軽に導入することができます。また、クラウドサーバは、免震構造を備えた

DCFS※基準のティア4レベルに準拠したデータセンターに設置、さらに遠隔地のサーバにデータバックアップを行っているため、BCP対策としての効果もあります。



壁掛け型出席端末



簡易版ハンディ出席端末

※ DCFS（データセンタファシリティストandard）：DCFSとはクラウドサービスを提供するデータセンター等、データセンターが求めるファシリティ基準を、ティア1からティア4まで4段階に分類し、各段階においてデータセンターが備えるべき建物や設備の基準項目および推奨項目について日本データセンター協会が定めたもの。

連結財務諸表(要約)

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (平成24年3月期)	当期末 (平成25年3月期)
(資産の部)		
流動資産	24,101	23,679
固定資産	19,188	19,831
有形固定資産	11,161	10,985
無形固定資産	4,062	4,983
投資その他の資産	3,964	3,862
繰延資産	30	31
資産合計	43,320	43,541
(負債の部)		
流動負債	13,254	11,929
固定負債	7,431	8,230
負債合計	20,686	20,159
(純資産の部)		
株主資本	22,496	23,033
資本金	10,836	10,836
資本剰余金	6,331	6,023
利益剰余金	7,129	7,339
自己株式	△1,801	△1,165
その他の包括利益累計額	△0	199
少数株主持分	137	149
純資産合計	22,633	23,381
負債純資産合計	43,320	43,541

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成24年3月期)	当期 (平成25年3月期)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,960	1,929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,735	△2,911
財務活動によるキャッシュ・フロー	△646	240
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△420	△740
現金及び現金同等物の期首残高	7,342	6,921
現金及び現金同等物の期末残高	6,921	6,181

※連結財務諸表の各数値については、表示単位未満を切捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前期 (平成24年3月期)	当期 (平成25年3月期)
売上高	38,992	38,792
売上原価	28,072	28,750
売上総利益	10,919	10,041
販売費及び一般管理費	10,612	9,483
営業利益	307	558
営業外収益	393	431
営業外費用	451	455
経常利益	249	534
特別利益	0	116
特別損失	91	109
税金等調整前当期純利益	158	541
法人税等	△112	150
少数株主損益調整前当期純利益	271	390
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	10
当期純利益	272	380

●連結包括利益計算書

(単位:百万円)

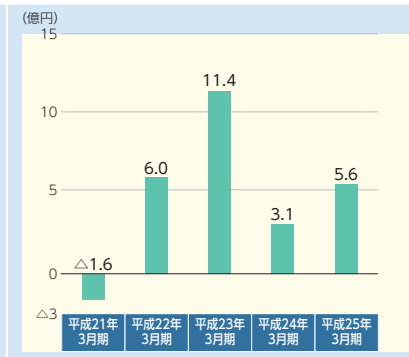
科目	前期 (平成24年3月期)	当期 (平成25年3月期)
少数株主損益調整前 当期純利益	271	390
その他の包括利益	234	199
包括利益	506	590

連結業績ハイライト

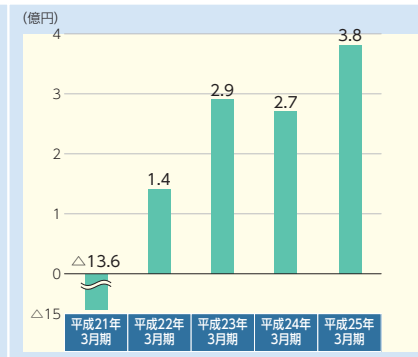
売上高



営業利益



当期純利益



※ グラフの数値については、表示単位未満を四捨五入しております。

企業情報

● サクサ ホールディングス株式会社 (平成25年3月31日現在)

設立年月日 平成16年2月2日
 資本金 10,836,678,400円
 従業員数 1,335名(連結)
 26名(単独)

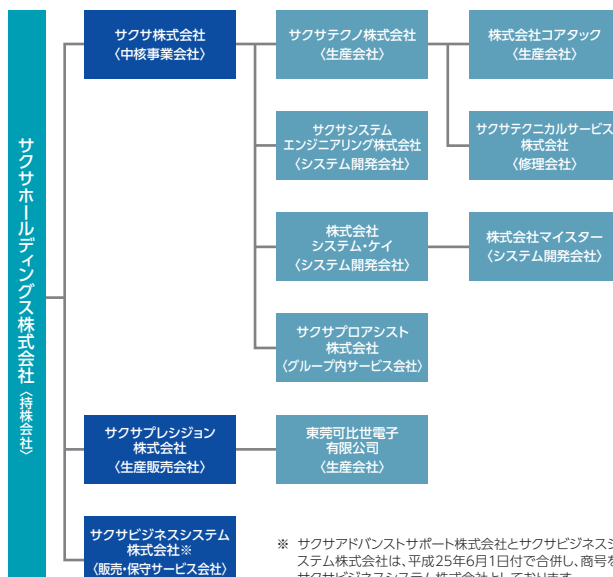
本社 東京都港区白金一丁目17番3号NBFプラチナタワー
 事業内容 情報通信システムの機器および部品の開発、
 製造および販売を主として行う子会社の経営管理等

取締役および監査役 (平成25年6月27日現在)

代表取締役社長	越川雅生	取締役	大坂 貢
代表取締役副社長	松尾直樹	取締役	畠山俊也
常務取締役	鈴木 譲	取締役	池田敬造
常務取締役	竹松睦男	常勤監査役	大内正樹
取締役	村田直光	監査役	羽鳥勝彦(新任)
取締役	木村廣志	監査役	河野 敬
取締役	皆川忠志	監査役	猪鼻正彦

※ 1. 畠山俊也および池田敬造の両氏は、社外取締役であります。
 ※ 2. 河野敬および猪鼻正彦の両氏は、社外監査役であります。また、両氏を株式会社東京証券取引所が定める独立役員として指定し、届け出ております。

● サクサグループ(12社) (平成25年6月27日現在)



※ サクサアドバンスサポート株式会社とサクサビジネスシステム株式会社は、平成25年6月1日付で合併し、商号をサクサビジネスシステム株式会社としております。

株式の状況

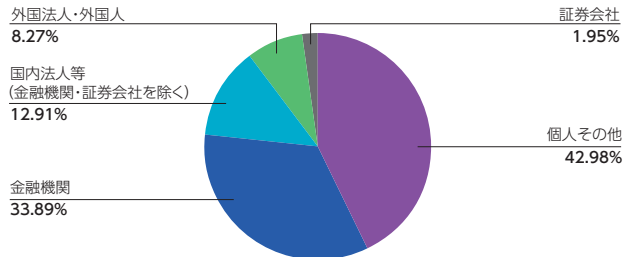
- 発行可能株式総数 240,000,000株
- 発行済株式の総数 62,449,621株
- 株主数 7,175名

大株主

株主名	持株数	持株比率
沖電気工業株式会社	8,060千株	13.70%
日本電気株式会社	2,360千株	4.01%
株式会社みずほ銀行	2,339千株	3.97%
株式会社三井住友銀行	1,767千株	3.00%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,033千株	1.75%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,022千株	1.73%
サクサグループ従業員持株会	978千株	1.66%
株式会社三菱東京UFJ銀行	959千株	1.63%
みずほ信託銀行株式会社	900千株	1.53%
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	895千株	1.52%

- ※1. 当社は、自己株式3,658千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
- ※2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。
- ※3. 沖電気工業株式会社の持株数には、沖電気工業株式会社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式6,059千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 沖電気工業口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)
- ※4. 株式会社みずほ銀行の持株数には、株式会社みずほ銀行が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,778千株を含んでおります。(株主名簿上の名義は、「みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

所有者別分布状況



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで	
期末配当の基準日	3月31日	
定時株主総会	6月	
基準日	3月31日 その他、必要があるときは、あらかじめ公告して定める日とします。	
公告掲載URL	http://www.saxa.co.jp/ ※ 当社の公告の方法は、電子公告としております。ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
郵便物送付先	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部	
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)	
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 みずほ銀行	本店および全国各支店 本店および全国各支店
ご注意	お取引の証券会社等になります。みずほ証券 本店・全国各支店 および営業所 プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店	
	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取り以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。